

中種子特別支援学校 学校便り

なかとく便り



令和7年3月3日 発行



「節目の年」

校長 宮脇 義博

本校は、昭和51年に開校し、今年が49年目です。本年度は、創立50周年に向けて実行委員会による準備を始めました。開校時は小・中学部のみで始まり、その後、高等部を設置し、さらに屋久島支援教室も開設しました。今後に目を向けると、当初の計画からは遅れていますが本格的に校舎の改修工事を始めます。

現在、感染症等による制限を緩和し、学校行事においても、家族をはじめ多くの方々に参観していただく機会を設けています。児童生徒の笑顔があふれる学校、いつでも誰でも参観できる学校、地域に開かれた学校を目指しています。

これからの半世紀に向けて、スタートラインに立ち、職員一同、新たな教育環境の充実に尽力していきたくと考えます。

日頃からの学校教育への御理解と御協力に感謝いたします。

【高等部屋久島支援教室】

ボランティア清掃に取り組んでいます。以前は教室周辺が中心でしたが、現在は範囲を広げ、多くの方が往來する正面玄関から職員室前の廊下の清掃に取り組んでいます。通りかかる職員に急に声を掛けられとっさの返答に困ったり、感謝の言葉を言われてうれしさを味わったり…学校は、生徒にとって小さな社会です。時間を見ながら作業を手際良く進めたり友達同士でうまく分担したりするのが今後の課題です。技能検定の清掃部門で学習したことを生活の中で生かしていけるように続けます。



【小学部】 小さな画伯たち 子供たちの中には、絵を描くことが大好きで、とてもすばらしい才能を発揮する子供たちがいます。その中から今回2人を紹介します。稲子勝さん4年生は鹿児島県国画作品展において入選しました。大好きな動物の絵「オオアクリイをかくボク」がとても生き生きと描かれています。中野光喜さん1年生は画材を選ばず、タブレットでもたくさんの作品を残しています。学習発表会の舞台に登場した大きな絵は「かえるの合唱」友達全員を蛙の姿で表現した横幅3メートルものアート作品です。



【中学部】 なかとくチャレンジ

自立活動や体力づくりの1年間の成果を発表する場として、「なかとくチャレンジ」を実施しました。猛烈な寒波が種子島にも襲いかかり、予定を延期しての実施となりましたが、たくさんの応援を頂くことでいつも以上の力が出せたのではないかと思います。一人一人が走る距離や回数の目標をもち、コツコツがんばってきた姿を思うと、本当にすごいなと感動しかありません。目標をもって取り組むことの素晴らしさを感じることができました。



【高等部】

12月6日(金)に種子島高校との交流学习がありました。前半は、電気科を中心に電気回路やクリスマスツリーの制作をし、後半は生物生産科で野菜の種のキーホルダー制作や子牛のブラッシング体験をしました。種子島高校の生徒たちが説明をしたり、一緒に制作をしたりして交流を深めることができました。

昼食は風の街に行き、それぞれ好きなメニューを頼み、食事を楽しんでいました。

今回も充実した交流学习になりました。



【訪問教育学級】

日頃は集団で生活する機会の少ない中、本年度は本校へのスクーリング（運動会、学習発表会）や地元との交流を通して、たくさんの刺激を受け大きく成長した1年でした。スムーズに会順カード、絵本のページをめくり、座位での移動範囲も広がり、ハイタッチもできるようになりました。また、視線や身体の動きから心の成長も感じられた1年でした。これからのさらなる成長が楽しみです。



学習発表会

11月23日(土)

に、多くの来賓や保護者、地域の方々に見守られながら、第49回学習発表会を開催しました。児童生徒は、「みんなで力を合わせ笑顔と元気あふれる学習発表会」のスローガンのもと、日頃の学習の成果を充分に発揮することができました。各学部の演目の他、児童生徒と職員による全体合唱「夢の世界を」や、卒業生による校歌斉唱なども行いました。発表後は、児童生徒のキラキラとした笑顔であふれていました。また、作品展では作業学習の製品や立体作品などが並び好評のお声をいただきました。会場の皆様の温かい拍手を、ありがとうございました。



ホームページ・ブログ公開中です

(ホームページ)

www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/nakatane-h/index.html

(ブログ)

nakatane-h-ss.edu.pref.kagoshima.jp/



開かれた学校作りを目指して

熊毛地区高校総合文化祭（屋久島離島開発センターにて）

1月17日（金）、屋久島支援教室の4人、訪問教育学級の1人で地区総文祭に出演しました。バンド演奏では、初めて手にする楽器ばかりでしたが、日々の練習を積み重ね、『Let it Be』を演奏することができました。演奏途中で客席と大合唱になり、会場が温かい空気に包まれました。屋久島高校生との「大切なもの」の合同合唱、書道部のパフォーマンスには姿勢の甲斐然大さんも出演するなど充実した1日でした。来年度は西之表市で開催予定です。



地域の清掃

日頃から校外走で使用しているコースをきれいにし、地域のために貢献したいと思っていましたが、天候不良のため地域の清掃ができずに学校内の清掃に変更になりました。生徒全員で決められた掃除場所（体育館など）を分担しながら、時間いっぱい取り組み、清掃した場所は、とてもきれいになりました。



おはなしパレット読み聞かせ会

12月9日（月）、中種子町おはなしパレットさんをお招きし、小・中学部の児童生徒への読み聞かせ会を行いました。大型絵本やパネルシアター、歌遊びなど、楽しい企画をたくさん用意してくださり、児童生徒は目を輝かせていました。本に親しむいい機会になりました。おはなしパレットさん、ありがとうございました。



黒糖作り

2月14日（金）、高等部では、町内にある黒糖伝承館で製糖作業を行いました。原料は、作業学習で農芸班が1年間栽培管理したサトウキビで、前日までに高等部全員で収穫しました。製糖作業を通して、種子島の特産品であるオーギ（種子島の方言でサトウキビのこと）について知り、畑でよく見るサトウキビを身近に感じることができました。



令和6年度特別支援学校技能検定（中種子会場）

1月23日（木）、令和6年度特別支援学校技能検定が行われました。高等部の生徒が、清掃部門、喫茶サービス部門に挑戦しました。保護者や関係機関、小・中学部の児童生徒職員も参観する中、緊張しながらもこれまでの学習で学んだことを発揮することができました。来年度も実施する予定ですので、ぜひともご参観ください。



中学部・高等部校内販売会

1月30日（木）の中学部・高等部校内販売会では、多くの保護者・地域の皆様にご来場いただきました。生徒たちは、大勢のお客様を相手に、心を込めて丁寧に作った製品が人の手に渡る喜びを感じることができました。



・児童生徒各種表彰等一覧（敬称略）

○ 第61回南日本硬筆展

【金賞】久永りこ、大迫高彦、岡崎滯菜、甲斐開也、村田優大、岩川直生
【銀賞】毛井架瑠、西川碧咲、岡崎わかな、松山亜衣、甲斐然大
【銅賞】稲子勝、町龍琥、羽生一心、槇姫愛

○ 第39回鹿児島県児童生徒作曲コンクール

【最優秀賞及び南日本新聞社賞】甲斐然大 【佳作】甲斐開也
【入選】西川碧咲、久永りこ、村田優大

* 本校は、学校賞をいただきました。

○ 第75回鹿児島県図画作品展

【入選】稲子勝

○ 第16回ふるさとの風景画作品展

【日高部賞】久永りこ 【入選】町龍琥

○ 第18回鹿児島県障害者スポーツ大会

【立幅跳】1位 久永りこ

【フライングディスク アキュラシー5】1位 岡崎滯菜

○ SAGA2024全障スポ

【50M走、立幅跳】久永りこ 県代表として出場

